

# FP まつもと通信

ちょっと得する「保険」や「年金」についての話題をお届けします。

## ご挨拶

この時期七五三を迎える子どもを町で見ることも多いのではないのでしょうか？着飾った子どもたちを見ると何となく嬉しく、微笑ましく感じますね！

医療が発達していない時代には「7歳までは神の子」と言われ宮中や公家の間で無事の成長を祈る儀式を行っていたのが七五三の由来だそうです。

少子化が課題の現代、社会全体で健やかな子どもの成長を願いたいですね！

## お手元に保険料控除証明書は届いていますか？

保険料控除証明書は年末調整や確定申告に必要なになります。

再発行には時間がかかることがあります。もしお手元がない場合には早めにご連絡ください。



## 今月のちょっと気になるお金のコラムはノーベル賞についてです。

京都大の本庶佑（ほんじょたすく）特別教授が医学・生理学賞を受賞して話題になりました。

ノーベル賞とお金についてまとめてみました。



FP 松本相談センター  
CFP・IFA（金融商品仲介業）  
媚山裕之

〒390-1702

長野県松本市梓川梓856-26

0263-76-1250 090-8741-7358

[info@fp-matsumoto.com](mailto:info@fp-matsumoto.com)

<http://fp-matsumoto.com>

## 最近のニュースから

あしなが育英会は10月に、同会から奨学金を受給している世帯に対して行った調査結果を公表しました。病気や災害で親を失い奨学金の受給を受けている家庭の実態を垣間見ることができます。

### 仕事・収入について

親が就業しているのは74.8%、失業中は6.7%でした。一般の完全失業率は2.4%（労働調査 平成30年8月）なので失業率は一般の3倍近くになります。また働いていても6割強がパートなどの不安定就労です。

勤労世帯の実収入は469,722円（総務省家計調査・2017年月平均学）に対し、奨学生家庭の8月の世帯総収入（仕事、仕送り、年金、奨学金などの総額）の平均は265,793円と一般世帯の56.6%です。

### 教育について

「教育費が高く支払いに苦労している」40.0%、「子供の教育費が家計を圧迫している」28.3%、「塾に行かせられない、学校外の教育費を十分かけられない」27.7%、と苦労をしている様子がうかがえます。

このような数字でもわかりますが、全体の83.1%の世帯が「暮らしぶりが苦しい」と感じています。

あしなが育英会 調査結果

<https://www.ashinaga.org/news/news/entry-8622.html>

私自身もこの調査をみて、生命保険の役割やアドバイザーとしての自分自身の役割を改めて確認することができました。

2012年から2015年までの3年間、社会保険労務士として「年金事務所における年金相談業務」に従事。そこで、数多くの“悲惨な老後の実態”を目の当たりにし、老後に向けた資産形成の必要性を痛感。国も勧める、“確定拠出年金”や“つみたてNISA”を活用した「長期・分散・つみたて投資」を真面目に、地道に推進。クイズやゲームを活用した『つみたて投資セミナー』は「わかりやすい」と多くの受講者から支持を得ている。

# 確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

積立投資の推移



N社バランスファンドのデータによる（コスト控除後）

|          | 積立合計額   | 株式75%   | 株式50%   | 株式25%   |
|----------|---------|---------|---------|---------|
| 2018年8末  | 180,000 | 187,651 | 184,126 | 180,900 |
| 2018年9末  | 190,000 | 200,465 | 196,150 | 191,546 |
| 2018年10末 | 200,000 | 193,566 | 194,596 | 195,517 |

2017年3月から開始した積立投資は右の図表のようになりました。

確定拠出年金のような長期の積立投資で成果を得るためには以下のポイントが大切です。

## 投資期間に応じた資産配分

積立期間が長い場合には株式の比率を多く、受取時期が近くなったら値動きが小さい債券の比率を多めにする。

## 大幅に値下がりした場合

積立期間が十分にある場合は、株式への資産配分の増額、掛金の増額を検討する。

## 株式・債券の特徴を理解して長期継続する。

株式や債券の特徴をよく理解して、様々なニュースや情報に惑わされず投資を長期継続することが成果に結びつきます。

## 10月に入って株式市場は大幅な下落

ニュース等でご存知の方も多いと思いますが、10月に入り世界的に株式市場は大幅に下落しています。

積立投資を始めて、初の大幅下落で不安に感じているかもしれません。

NYダウ平均株価（直近高値→10月末）

10月3日 26823.39 → 25115.76 -6.36%

日経平均株価

10月1日 24245.76 → 21920.46 -9.59%

専門家と言われる人のコメントを読んだり聞いたりしていますが、人によって予想はまちまちのようです。

リーマンショック並みの大幅な下落になる、という意見がある一方で、一時的な下落で短期の調整で終わる、という意見もあります。

また同じ専門家（運用会社）でも時期によってマーケットの解釈が異なるようです。

下記は大手投信会社のレポート（2018年10月25日）です。

### 景気・業績の先行き悪化を織り込む動きか

10月の株式市場調整のきっかけは、利上げや米長期金利上昇に伴うバリュエーション調整だったと考えられますが、先に見たように、足元でバリュエーション面の割高感大幅に後退していると思われる。

こうした中、24日の米国株の調整は、世界景気の減速懸念に伴う、業績見通し悪化を織り込む動き（≒一株当たり利益（EPS）予想の下方修正）が背景だったと考えられます。

次ページは同じ運用会社が10月4日に出したレポートです。

## ハイテク株に相対的な割高感はみられず

また、ハイテクバブル後、2003年以降の長期的な予想株価収益率（PER）の推移をみると、米国を代表する株価指数の1つであるS&P500種指数はおおむね11～19倍の範囲で推移するなか、足もとは約18倍と、過去15年平均の15.8倍と比較しても相対的に高い水準にあります。これに対し、ナスダック総合指数はおおむね13～30倍で推移するなか、足もとは約23.5倍と、過去15年平均の22.0倍と比較した場合、S&P500種指数ほどのかい離はみられません。

こうしたことなどから、米国株のなかで足もと出遅れ感のあるハイテク株に相対的な割高感はみられず、10月半ばから本格化する7-9月期の決算発表で同セクターの好業績が予想されるなか、今後上昇基調に転じることが期待されます。

10月4日には各種指標を参照し、割高感はない、今後とも上昇基調が継続する、としています。下落後の10月25日のレポートでは、今回の下落は割高感の調整である、としています。

(注) レポートの抜粋の目的  
レポートがいい加減だ、という事ではなく、マーケット予想は専門家であっても難しい、という事を理解するための材料として掲載しています。

では私たちは確定拠出年金のような長期の積立投資を行う場合、何を基準に判断したらよいのでしょうか？

## 下落時に確認すべき3つのポイント

今回のように大きく下落した場合にまずすべきことは、**自分が行っている投資を再確認する**、という事です。

### 1. 何に投資をしているのか

自分が投資をしているものは何か？どのようなリターンを期待しているのか？を確認しましょう。

- (A) 短期の値動きですか？
- (B) 長期的な企業や経済の成長ですか？

もし (A) なら場合によっては解約（売却）も検討する必要があるかもしれません。(B) であれば購入しているものは『価格』ではなく『企業の価値』なので毎日の株価の動きによって自分の投資スタンスを変えてはいけません。

### 2. どのようなやり方で投資をしているのか？

- (A) 集中投資ですか？
- (B) 分散投資ですか？

マーケットを取り巻く環境によっては、良いと考えていた投資対象が変わることがあります。従って保有している商品が (A) のタイプであれば、今後もその投資を継続するべきか検討する必要があります。

一方 (B) の場合は、世界中の企業が一度に破綻したりすることは『まず無い』と考えて良いでしょうし、回復時に大きく値上がりする投資対象を逃すこともありません。従って値下がりをしたからと言って商品を慌てて変更する必要はありません。

さらに積立投資のように購入する時期を分けている場合で取崩し時期まで期間がある場合には、安い価格で購入できる良い機会と積極的にとらえることもできます。

### 3. 取崩しの時期はいつか？

そうは言っても大きな下落がある場合によっては回復するまで時間がかかることがあります。2007年10月から2009年3月までの下落（サブプライムローン破綻、リーマンショック）では、以前の高値を上回るまで約6年かかりました（NYダウ平均）。

行っている投資が少なくとも数年は取崩す予定がないことを確認してください。

以上3点が確認できたら日々の値動きは気にせず投資（積立）を継続して大丈夫でしょう。

さらに大きく下がるような場合には、積立金額の増額（無理ない範囲で）や大きく下落している商品（株式）への配分増加を検討してもよいでしょう。

初めての投資で初めての下落の場合、不安に感じる方も多いかもしれませんが、このようなポイントを確認して長期継続することが成果につながると考えています。

## ちょっと気になるお金のコラム

10月はノーベル賞の発表がありました。日本人では京都大学の本庶佑（ほんじょたすく）特別教授が医学生理学賞を受賞して話題になりましたね。

### 気になる賞金は？

今年度の賞金額は900万スウェーデンクローナ（以下SEK）です。9月末時点で、1SEKは12.80円ですから日本円にすると約1億1500万円になります。2012年にそれまで1000万SEKだった賞金を財政難から800万SEKに減額しましたが、昨年から100万SEK引上げて900万SEKになりました。

ノーベル賞は一つの部門で複数の研究者が受賞することがあります。今年の医学・生理学賞は、米テキサス大のジェームズ・アリソン教授との同時受賞でした。その場合には、半分の450万SEKずつになります。

本庶特別教授はその使い道について、ノーベル賞の賞金に、研究成果を利用して開発された薬の特許使用料も加え基金を設立し、生命科学分野の若手研究者を支援する考えをお持ちのようです。

1921年に物理学賞を受賞したアルベルト・アインシュタインの賞金の使い道には驚かされます。

彼は離婚をするときに、将来ノーベル賞を取ったら、その賞金を慰謝料にする、と約束して離婚し、その後

本庶氏の似顔絵（ノーベル財団HPより）  
<https://www.nobelprize.org/>



Tasuku Honjo

Ill. Niklas Elmehed. © Nobel Media

本当にノーベル賞を受賞し賞金を慰謝料にしたといわれています。

### 賞金の財源は？

ノーベル財団はダイナマイトを発明したアルフレッド・ノーベルの遺産を基に設立されました。いくら莫大な遺産といっても取り崩すだけだと目減りしてしまうので、株式などに投資をして、その収益を賞金や運営費用に充てています。

2017年の年次報告書によると運用資産は42.63億SEK（日本円で約545億円）。ポートフォリオは、

株式：50%（スウェーデン：10%、その他：40%）  
債券：18%（スウェーデン：14%、その他：4%）  
不動産：7%  
オルタナティブ（ヘッジファンド）：25%

となっています。

年間でかかる費用は、円換算（1SEK=12.80円として）で約13億円です。内訳は、

賞金：約5.7億円  
選考機関の運営費：約3.4億円  
授賞式・祝賀会：約2億円  
スタッフ給与・運営経費：約2億円となっています。

今年の受賞を含め日本人のノーベル賞受賞者は26人。特に最近は医学生理学賞の受賞が続いています（2012年、2015年、2016年、そして今年）。

このような研究が難病の克服は勿論のこと、経済的な負担が少ない治療に発展していくと良いですね。

ノーベル財団年次報告書

[https://www.nobelprize.org/uploads/2018/07/annual\\_report\\_17.pdf](https://www.nobelprize.org/uploads/2018/07/annual_report_17.pdf)

# お金のこと、年金のこと、保険のこと、 すっきりしたい方、安心したい方は無料FP相談をご利用ください

- ✓ 保険料を払いすぎているか確認したい
- ✓ 自分が加入している保険がどのような時にでるのか確認したい
- ✓ 年金がいくらぐらいもらえるのか知りたい
- ✓ 年金が不安だがどのように準備したらよいか知りたい
- ✓ 火災保険や自動車保険のお得な入り方を知りたい
- ✓ 確定拠出年金の商品選びについて教えて欲しい
- ✓ その他



このようなことで少しでも気になることがある場合はご相談ください。ニュースレター会員の方向けに無料でFP相談を行っています。

## ご相談事例

- 昔に入った生命保険を見直して毎月の保険料が大幅にダウン。
- 年金定期便の見方がわかり、具体的に老後資金準備のイメージがつかめた。
- 最近の医療制度や医療技術に合わせた保険に変更でき安心した。

## FP無料相談 お申込

ご確認したい項目に、必要事項をご記入の上、ファックスでお申込ください。折り返しご連絡を差し上げます。

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 生命保険のお得な入り方     | <input type="checkbox"/> 年金定期便の見方        |
| <input type="checkbox"/> 加入生命保険の内容を確認したい | <input type="checkbox"/> 老後資金の準備について     |
| <input type="checkbox"/> がん保険・先進医療保険について | <input type="checkbox"/> 教育資金の準備について     |
| <input type="checkbox"/> 損害保険のお得な入り方     | <input type="checkbox"/> 年金商品の選び方        |
| <input type="checkbox"/> その他             | <input type="checkbox"/> 確定拠出年金の商品選びについて |

お名前

電話番号

メール

 (ブロック体でご記入ください)

勤務先

お役職

お問い合わせフォームはこちら⇒  
<http://fp-matsumoto.com/contact/>



↓ FAX:050-3730-0380 ↓

個人情報の利用目的：当該サービスを提供。当社サービスのご案内